

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 清水銀行

コード番号 8364 URL <http://www.shimizubank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 山田 訓史

問合せ先責任者 (役職名) 理事総合統括部長

(氏名) 鳥羽山 直樹

TEL 054-353-5162

四半期報告書提出予定日 平成21年11月20日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	15,120	△8.8	1,963	170.7	2,798	105.6
20年9月中間期	16,579	△11.7	725	16.4	1,361	86.3

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
21年9月中間期	293.22	260.90
20年9月中間期	142.55	126.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率 (国内基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年9月中間期	1,297,813	65,933	4.9	6,640.78	10.08
21年3月期	1,334,308	61,461	4.4	6,173.01	9.48

(参考) 自己資本 21年9月中間期 63,382百万円 21年3月期 58,923百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。なお、平成21年9月中間期は速報値であります。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	35.00	—	25.00	60.00
22年3月期	—	30.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△7.2	3,500	—	3,500	—	366.71

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月中間期	9,600,218株	21年3月期	9,600,218株
② 期末自己株式数	21年9月中間期	55,819株	21年3月期	54,946株
③ 期中平均株式数(中間期)	21年9月中間期	9,544,791株	20年9月中間期	9,547,787株

(個別業績の概要)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	12,428	△9.1	1,872	209.1	2,811	106.1
20年9月中間期	13,667	△13.0	605	14.1	1,363	89.3

	1株当たり中間純利益
	円 銭
21年9月中間期	294.54
20年9月中間期	142.84

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	単体自己資本比率 (国内基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年9月中間期	1,289,142	62,794	4.9	6,579.15	9.71
21年3月期	1,324,850	58,326	4.4	6,110.52	9.13

(参考) 自己資本 21年9月中間期 62,794百万円 21年3月期 58,326百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注)「単体自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。なお、平成21年9月中間期は速報値であります。

2. 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	△8.4	3,500	—	3,500	—	366.71

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行なう会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

・業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

上半期におけるわが国経済は、雇用環境が過去最低水準となるなど厳しさを増す中で個人消費は弱めの動きとなったものの、各国の政策措置の効果や在庫調整の進展を背景に輸出が増加するなど、景気は持ち直しに転じました。一方、企業収益が大幅に落ち込み、設備投資が減少しており、景気を下押しするリスクは未だ存在しております。

当行の主要営業基盤である静岡県経済につきましても、輸出は欧米向けが引き続き低迷しましたが、在庫調整が進捗し自動車関連に下げ止まりの動きが見られたほか、電気機械および一般機械のアジア向けが持ち直し、景気の下げ止まり傾向がみられました。しかし、企業業績の悪化から設備投資の減少が続いたほか、雇用・所得環境が一段と悪化したなかで、個人消費も低調に推移し、先行きの不透明感が続きました。

金融環境につきましては、期初8千円台でスタートした日経平均株価は今年7月より1万円台で推移しましたが、円相場が期初1ドル100円程度から期末には90円を割り込む水準にまで円高が進み、株式市場における懸念要因となりました。

このような状況のなか、当中間期は以下の連結経営成績となりました。

当行グループの経常収益は、金利低下により資金運用収益が減少したことから、前年同期比14億59百万円減少の151億20百万円となりました。経常費用は、資金調達費用の減少及び株式等関連損失の減少により、前年同期比26億97百万円減少の131億56百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比12億38百万円増加の19億63百万円、中間純利益は、前年同期比14億37百万円増加の27億98百万円となりました。

事業の種類別のセグメントについては、次のとおりであります。

<銀行業>

経常収益は、金利低下により資金運用収益が減少したことから、前年同期比12億38百万円減少の124億28百万円となりました。経常費用は、資金調達費用の減少及び株式等関連損失の減少により、前年同期比25億5百万円減少の105億56百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比12億66百万円増加の18億72百万円となりました。

<リース業>

経常収益は、リース料収入が減少したことから、前年同期比1億98百万円減少の27億23百万円、経常利益は、前年同期比61百万円減少の12百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業は信用保証業務及びクレジットカード業務等であります。経常収益は前年同期比30百万円増加の11億43百万円、経常損失14百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

預金につきましては、採算性を重視した調達を行った結果、前期末比143億円減少の1兆2,040億円となりました。

貸出金につきましては、地元のお客さまへの資金供給に努めた結果、前期末比ほぼ横這いの9,455億円となりました。

有価証券につきましては、市場動向を注視しつつ、流動性に配慮する中で債券残高の積み増しを行った結果、前期末比276億円増加の2,677億円となりました。

このような結果から、総資産は前期末比364億円減少し1兆2,978億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、中間期の業績を加味し、資金利益の改善を見込むとともに国内景況感を見極めていくことなどを踏まえ、平成21年5月15日に公表いたしました予想値を変更します。詳細は、別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【中間連結財務諸表】
 (1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	24,650	48,532
コールローン	20,000	50,000
商品有価証券	153	321
金銭の信託	2,507	2,501
有価証券	267,728	240,097
貸出金	945,555	949,492
外国為替	341	496
リース債権及びリース投資資産	9,650	10,238
その他資産	7,315	11,580
有形固定資産	22,336	22,934
無形固定資産	961	985
繰延税金資産	5,772	7,511
支払承諾見返	4,453	5,504
貸倒引当金	△13,613	△15,888
資産の部合計	1,297,813	1,334,308
負債の部		
預金	1,204,067	1,218,436
譲渡性預金	—	24,800
借入金	6,266	6,728
外国為替	10	3
新株予約権付社債	5,999	5,999
その他負債	7,434	7,817
賞与引当金	551	552
退職給付引当金	2,988	2,884
役員退職慰労引当金	87	83
睡眠預金払戻損失引当金	21	38
支払承諾	4,453	5,504
負債の部合計	1,231,880	1,272,846
純資産の部		
資本金	8,670	8,670
資本剰余金	5,272	5,272
利益剰余金	47,872	45,312
自己株式	△274	△271
株主資本合計	61,541	58,984
その他有価証券評価差額金	1,862	△48
繰延ヘッジ損益	△20	△12
評価・換算差額等合計	1,841	△61
少数株主持分	2,551	2,538
純資産の部合計	65,933	61,461
負債及び純資産の部合計	1,297,813	1,334,308

(2) 【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
経常収益	16,579	15,120
資金運用収益	11,488	10,204
(うち貸出金利息)	10,001	9,108
(うち有価証券利息配当金)	1,334	1,055
役務取引等収益	4,401	4,126
その他業務収益	66	345
その他経常収益	623	444
経常費用	15,854	13,156
資金調達費用	2,216	1,484
(うち預金利息)	2,078	1,422
役務取引等費用	3,022	2,745
その他業務費用	11	0
営業経費	8,765	8,738
その他経常費用	1,838	187
経常利益	725	1,963
特別利益	1,065	1,356
固定資産処分益	—	8
償却債権取立益	2	1
貸倒引当金戻入益	1,063	1,347
特別損失	51	4
固定資産処分損	50	1
減損損失	0	2
税金等調整前中間純利益	1,740	3,316
法人税、住民税及び事業税	119	35
法人税等調整額	289	497
法人税等合計	409	532
少数株主損失(△)	△29	△14
中間純利益	1,361	2,798

(3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	8,670	8,670
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	8,670	8,670
資本剰余金		
前期末残高	5,273	5,272
当中間期変動額		
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△0	—
当中間期末残高	5,273	5,272
利益剰余金		
前期末残高	52,265	45,312
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
中間純利益	1,361	2,798
当中間期変動額合計	1,026	2,560
当中間期末残高	53,292	47,872
自己株式		
前期末残高	△259	△271
当中間期変動額		
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
当中間期変動額合計	△6	△3
当中間期末残高	△265	△274
株主資本合計		
前期末残高	65,950	58,984
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
中間純利益	1,361	2,798
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
当中間期変動額合計	1,020	2,556
当中間期末残高	66,970	61,541

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△1,971	△48
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	294	1,910
当中間期変動額合計	294	1,910
当中間期末残高	△1,677	1,862
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	0	△12
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	20	△8
当中間期変動額合計	20	△8
当中間期末残高	20	△20
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△1,970	△61
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	314	1,902
当中間期変動額合計	314	1,902
当中間期末残高	△1,656	1,841
少数株主持分		
前期末残高	2,652	2,538
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△54	12
当中間期変動額合計	△54	12
当中間期末残高	2,598	2,551
純資産合計		
前期末残高	66,632	61,461
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
中間純利益	1,361	2,798
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	259	1,914
当中間期変動額合計	1,279	4,471
当中間期末残高	67,912	65,933

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

6. 【中間財務諸表】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	24,200	48,038
コールローン	20,000	50,000
商品有価証券	153	321
金銭の信託	2,507	2,501
有価証券	267,740	240,132
貸出金	951,473	955,885
外国為替	341	496
その他資産	4,426	8,304
有形固定資産	19,935	20,319
無形固定資産	800	859
繰延税金資産	5,156	6,895
支払承諾見返	4,453	5,504
貸倒引当金	△12,045	△14,409
資産の部合計	1,289,142	1,324,850
負債の部		
預金	1,207,768	1,222,050
譲渡性預金	—	24,800
借入金	300	340
外国為替	10	3
新株予約権付社債	5,999	5,999
その他負債	4,382	4,472
未払法人税等	40	39
リース債務	660	606
その他の負債	3,680	3,826
賞与引当金	503	507
退職給付引当金	2,909	2,807
睡眠預金払戻損失引当金	21	38
支払承諾	4,453	5,504
負債の部合計	1,226,348	1,266,523
純資産の部		
資本金	8,670	8,670
資本剰余金	5,267	5,267
資本準備金	5,267	5,267
利益剰余金	47,294	44,721
利益準備金	8,670	8,670
その他利益剰余金	38,624	36,051
別途積立金	35,132	41,932
繰越利益剰余金	3,491	△5,880
自己株式	△274	△271
株主資本合計	60,957	58,388
その他有価証券評価差額金	1,857	△49
繰延ヘッジ損益	△20	△12
評価・換算差額等合計	1,836	△61
純資産の部合計	62,794	58,326
負債及び純資産の部合計	1,289,142	1,324,850

(2) 【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
経常収益	13,667	12,428
資金運用収益	11,468	10,198
(うち貸出金利息)	9,984	9,102
(うち有価証券利息配当金)	1,332	1,056
役務取引等収益	1,499	1,440
その他業務収益	66	345
その他経常収益	631	443
経常費用	13,061	10,556
資金調達費用	2,173	1,445
(うち預金利息)	2,083	1,424
役務取引等費用	426	406
その他業務費用	11	—
営業経費	8,634	8,525
その他経常費用	1,815	177
経常利益	605	1,872
特別利益	1,251	1,470
特別損失	51	3
税引前中間純利益	1,806	3,339
法人税、住民税及び事業税	69	12
法人税等調整額	373	516
法人税等合計	442	528
中間純利益	1,363	2,811

(3) 【中間株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日)	当中間会計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月 30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	8,670	8,670
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	8,670	8,670
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	5,267	5,267
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	5,267	5,267
資本剰余金合計		
前期末残高	5,267	5,267
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	5,267	5,267
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	8,670	8,670
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	8,670	8,670
その他利益剰余金		
別途積立金		
前期末残高	40,432	41,932
当中間期変動額		
別途積立金の積立	1,500	—
別途積立金の取崩	—	△6,800
当中間期変動額合計	1,500	△6,800
当中間期末残高	41,932	35,132
繰越利益剰余金		
前期末残高	2,564	△5,880
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
別途積立金の積立	△1,500	—
別途積立金の取崩	—	6,800
中間純利益	1,363	2,811
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	△470	9,372
当中間期末残高	2,094	3,491

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日)
利益剰余金合計		
前期末残高	51,667	44,721
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
別途積立金の積立	—	—
別途積立金の取崩	—	—
中間純利益	1,363	2,811
自己株式の処分	△0	—
当中間期変動額合計	1,029	2,572
当中間期末残高	52,696	47,294
自己株式		
前期末残高	△259	△271
当中間期変動額		
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
当中間期変動額合計	△6	△3
当中間期末残高	△265	△274
株主資本合計		
前期末残高	65,345	58,388
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
中間純利益	1,363	2,811
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
当中間期変動額合計	1,022	2,569
当中間期末残高	66,368	60,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	△1,982	△49
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	298	1,906
当中間期変動額合計	298	1,906
当中間期末残高	△1,684	1,857
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	0	△12
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	20	△8
当中間期変動額合計	20	△8
当中間期末残高	20	△20

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
評価・換算差額等合計		
前期末残高	△1,982	△61
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	318	1,898
当中間期変動額合計	318	1,898
当中間期末残高	△1,663	1,836
純資産合計		
前期末残高	63,363	58,326
当中間期変動額		
剰余金の配当	△334	△238
中間純利益	1,363	2,811
自己株式の取得	△8	△3
自己株式の処分	1	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	318	1,898
当中間期変動額合計	1,341	4,467
当中間期末残高	64,705	62,794

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。